記者発表資料

平成２４年１２月２５日
国土交通省郡山国道事務所
国土交通省東北技術事務所

―異常豪雪と戦う―

豪雪に対応するため、深雪及び狭隘部でも走行可能な三角クローラ型小形除雪車を導入します！

～平成 25 年 1 月 10 日(木)　試験運転を実施します～

平成22年12月25日に異常降雪により国道49号坂下ー西会津間において300台の車が一時立ち往生する事案が発生しました。当時は、スタックした車両が道路を塞ぎ大型除雪車が進入することができず、人力で除雪を行いました。この様な事案を踏まえ、東北技術事務所で開発した深雪及び狭隘部でも走行可能な三角クローラ型小形除雪車を導入します。

当該車両は、豪雪時の悪条件下での走行性向上のほか、広報機能及び除雪作業時の安全性を確保するための機能を有しており、初動の現地調査及び初期除雪作業の迅速化等を目的に開発されたものです。

《試験運転実施概要》

◆日　　時　　平成２５年１月１０日（木）１３：００～１４：００

◆実施場所　　西会津除雪ステーション（添付図参照）
住所：福島県耶麻郡西会津町野沢字田中甲６７５－１

◆実施内容　　ステーション構内における走行及び除雪試運転

【発表記者会：郡山記者クラブ、会津若松市記者クラブ】

【お　問　合　せ　先】
(試験運転に関する内容)
国土交通省　郡山国道事務所　管理課
専門職　　齋藤　俊一
電話　０２４－９４６－０３３３(代)
(開発車両に関する内容)
国土交通省　東北技術事務所　施工調査課
課長　　伊藤　圭

裏面もあります

■開発のポイント

①既存ストックを有効活用

既存の除雪機械をベース車両として必要な改造を実施しております。

②タイヤ式から三角クローラ式に変更

既存の除雪機械では雪が深い場合走行が困難でしたが、タイヤを三角クローラにすることで接地圧の低減が図られ、深雪上でも走行可能となっております。

③スピーカーや通信装置を装備

現地情報（原因調査、一般車両搭乗者の安否確認）の収集及び一般車両への情報提供に必要な広報用のスピーカー、無線等の広報通信機能を装備しております。

④オーガ安全カバー（巻き込み防止設置）

除雪作業中の歩行者等の巻き込みを防止するためオーガ安全カバー（巻き込み防止装置）を装着しております。

現車　1.0m 級小形除雪車



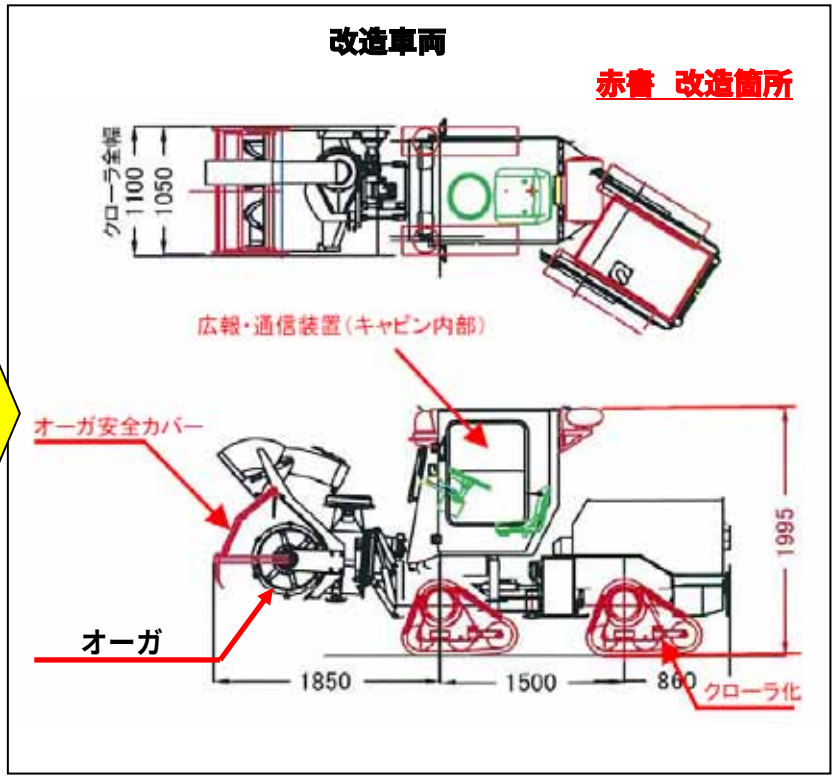
▲小型除雪車　側面



▲小型除雪車　正面

改造車両

赤書　改造箇所



■西会津除雪ステーション（試験運転実施場所）位置図

